

平成28年5月31日

高松市長 大西秀人 殿

高松市香川地区地域審議会

会長 佐藤博美



建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

立夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、平成28年4月18日付、高地振第43号で依頼のありました、建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめた「第1期まちづくり戦略計画（平成28年度～平成30年度）」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成29年度から30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	特色あるスポーツ施設の整備促進について	<p>建設計画の中で、特に重点取組事業として位置付けられている「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」については、これまで地域審議会で審議してきた事項や、地域住民の声を十分に尊重していただき、平成29年度内の完成を切望する。</p>
2	保育所の整備及び跡地の有効活用について	<p>大野地区統合保育所及び川東保育所施設整備については、平成28年夏の開所に向けて工事が進められているところですが、子供たちに安心・安全な保育環境が提供できるよう、一日でも早い開所をお願いしたい。</p> <p>また、新しい保育所が開所した後の、大野保育所と川東保育所の跡地については、早期に有効活用ができるように、地元の意見や要望を十分に配慮した対応をお願いしたい。</p>
3	伝統文化の保存継承について	<p>高松市の貴重な民俗文化財である「ひょうげ祭り」や 農村歌舞伎「祇園座」の保存活動及び後継者育成に対し、引き続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承と併せて、高松市の代表的な文化財として県内及び他県自治体との交流事業にも積極的に関わっていきたいと考えているので、高松市として引き続き支援をお願いしたい。</p> <p>更には、「大禹謨碑関連事業」についても、当該事業を継続実施する予定であるので、事業展開への支援をお願いしたい。</p> <p>また、市のホームページや広報誌等への掲載、報道機関への情報提供、インターネット等を利用した全国への情報発信も引き続きお願いしたい。</p>
4	高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持と新病院の早期整備について	<p>高松市民病院附属香川診療所においては、「総合診療科」を設けるなど、地域の特性を反映した取り組みに努めていただいているが、今後においても、新病院開院までは香川診療所の確実な維持に向けて、あらゆる方策を講じていくよう努められたい。そして、香川診療所と市民病院との連携を密にし、市民病院等からの応援医師の派遣についても継続し、医師の維持確保に努めていただきたい。</p> <p>また、新病院の整備については、市民が安心して笑顔で暮らせるまちの実現のために、早期開院に向けて、全力を傾注して取り組んでいただくようお願いしたい。</p>

建設計画に係る平成29年度から30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
5	香川保健センター	<p>各地域の保健センターで実施している1歳6か月検診や3歳児検診については、平成29年1月から、桜町の保健センターに集約して実施することになっているが、これは、地域行政再編計画の目的である「市民により近いところで、幅広い行政サービスが提供できるよう、本庁に集約されている機能を分散する」とことと相反すると思われるため、最低でも高松市南部地域の中核となる総合センターで、受診が可能になるよう要望する。</p> <p>また、総合センターへ、地域包括支援センターや保健センターの機能を移転した後の、香川保健センターの施設の活用方法については、「地域住民の意見を参考にするとともに、高松市ファシリティマネジメント推進基本方針等を踏まえ検討したい。」との回答を得ているが、今後の具体的なスケジュール等をお示し願いたい。</p>
6	市道の整備について	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 高松市南部地域のまちづくりを担う大変重要な路線であることを十分認識いただき、今後とも、土地所有者ほか地元関係者の同意、合意形成がなされ、正式な要望書が提出されれば、直ちに道路の規格、法線などを定め、県道三木綾川線までの延長整備事業を早期に計画・立案されたい。</p> <p>②市道下川原北線・山下横岡線等の早期整備 市道山下横岡線の拡幅整備については、まず、市道下川原北線を整備し、その後の交通量の増加状況や交通の流れを検証し、適切に対応していくとのことであるが、交通量も増加傾向にある上、通学路にもなっていることから、危険性は年々増大しているものと思われる。通行者の事故を未然に防止するためにも、市道下川原北線の日も早い完成に努めていただき、併せて、市道山下横岡線の拡幅整備について早期に計画・立案をされたい。</p> <p>また、市道八王子線については、市道山下横岡線と同様、通学路となっていることから、地域住民から整備要望が強い路線であるので、地元関係者の協議が整い次第、早期整備をお願いしたい。</p> <p>さらに、その他の路線についても、早期整備が図られるよう適切に対処されたい。</p>